

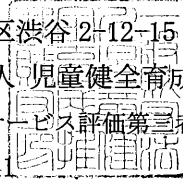
福祉サービス第三者評価結果報告書（平成 27 年度）

平成 28 年 2 月 22 日

社会福祉法人京都社会福祉協会
福西児童館 殿

〒150-0002

所在地 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 日本薬学会ビル 7F
 評価機関名 一般財団法人 児童健全育成推進財団
 （東京都福祉サービス評価第三者評価機関／機構 12-215）
 電話番号 03-3486-5141
 代表者氏名 理事長 鈴木 一光



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名	評価者氏名		所属
	①	阿南健太郎	児童健全育成推進財団第三者評価室主たる評価者 東京都評価者番号 H1201051
②	豊倉 厚	児童健全育成推進財団第三者評価室主たる評価者 東京都評価者番号 H1401038	
福祉サービス種別	児童館		
評価対象施設名称	福西児童館		
施設連絡先	所在地	〒610-1113 京都府京都市西京区大枝南福西町 1-2	
	電話番号	075-332-6640	
施設代表者氏名	館長 児嶋 由佳		
契約日	平成 27 年 7 月 2 日		
自己評価票回答期間①	平成 27 年 10 月 1 日～11 月 20 日	館長回答項目	
自己評価票回答期間②	平成 27 年 9 月 1 日～9 月 28 日	事務局回答項目	
職員調査票回答期間	平成 27 年 10 月 1 日～11 月 6 日	職員回答項目	
訪問調査日	平成 27 年 12 月 16 日	館長・事務局回答項目	

福西児童館評価結果

. リーダーシップと意思決定

1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		
1	事業所が目指していること（理念、基本方針）を明確化・周知している	
	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を明示している	確認済
	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	確認済
	3. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	確認済
2	経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	確認済
	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	確認済
<p>【講評】 経営基本方針に則り、市民に向けた周知広報の努力があります</p> <p>法人独自の経営基本方針に則り、各館では京都市児童館活動指針を活用し、その理念や方向性を確かめる機会があります。特に館独自の基本方針、行動指針を館長自ら策定し、掲示等により職員に周知しています。また、必要に応じて見直しをしています。</p> <p>法人独自の児童館広報資料を作成し、就職希望者、潜在的希望者層等の市民に配付することにより、児童館運営の基本理念を周知しています。</p> <p>法人理事会等で議論されている内容は全て館長会議で周知されており、法人運営の状況を多くの職員が理解するようにしています。</p>		

・経営における社会的責任

1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		
1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などを明示している		確認済
2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などの理解が深まるように取り組んでいる		確認済
2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		
1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるよう取り組んでいる		確認済
2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法（事業者便り・会報など）で地域社会に事業所に関する情報を開示している		確認済
2 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		
1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している（施設・備品等の開放、個別相談など）		確認済
2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動（研修会の開催、講師派遣など）を行っている		確認済
2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		
1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢をもち、受け入れている		確認済
2. ボランティアの受け入れ体制を整備している（担当者の配置、手引き書の作成など）		確認済
3 地域の関係機関との連携を図っている		
1. 地域の関係機関のネットワーク（事業者連絡会など）に参画している		確認済
2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		確認済
【講評】		
透明性の高い法人・施設運営を目指した取り組みがあります		
<p>法人では、福祉サービス第三者評価を重要視し、運営しているほぼ全ての児童館で受審し、その結果を公表しています。</p> <p>法人では、児童館の他に保育所を運営しており、隣接する施設では情報共有を行いながら、子育て支援環境づくりを地域と協力しながら実施しています。</p> <p>京都市の地域子育て支援ステーション事業に積極的に関与し、児童館を核としながら、地域の関係機関との連携を進めています。関係機関職員や地域住民等がネットワークに参画していることから、自ずと児童館の活動を広く周知する機会となっています。</p>		

・利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

1 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		
1 利用者一人ひとりの意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応している（苦情解決制度を含む）		
1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		確認済
2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる		確認済
2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		
1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる		確認済
2. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる		確認済
3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		
1. 地域の福祉ニーズの収集（地域での聞き取り、地域懇談会など）に取り組んでいる		確認済
2. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）の収集に取り組んでいる		確認済
<p>【講評】 利用者からの苦情に対し真摯に向き合い、運営に生かす仕組みがあります</p> <p>要望や苦情を利用者から発しやすいよう、アンケートをとることや、苦情解決体制を掲示や利用案内（しおり）などで周知しています。</p> <p>苦情については、内容、対応、結果をとりまとめ、法人役員会で報告し、館長会でも具体的に共有するようにしています。これにより、再発防止等を心がけています。</p> <p>法人事務局も個別の児童館での苦情やトラブルに対応する体制があり、利用者とのコミュニケーションを大事にしています。</p>		

・計画の策定と着実な実行

1 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している		確認済
2. 年度単位の計画を策定している		確認済
3. 短期の活動についても、計画的（担当者・スケジュールの設定など）に取り組んでいる		確認済
2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている		確認済
2. 計画は、サービスの現状（利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など）を踏まえて策定している		確認済
3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
1. 計画推進の方法（体制、職員の役割や活動内容など）を明示している		確認済
2. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している		確認済
2 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
1. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している		確認済
2. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている		確認済
【講評】		
年間計画の質を高める努力をしています		
<p>館独自の中長期計画の策定があります。京都市児童館活動指針の改定時期にあわせて、今後も見直し作業を進めることとしています。</p> <p>利用者の増減状況を分析しています。広報戦略や事業内容の配慮などを館長会議で情報共有し、目標設定に生かしています。</p> <p>今後、法人としての児童館運営に関する中長期ビジョン策定が期待されます。社会福祉法人改革と合わせ、法人経営における児童館運営の位置づけを検討していく用意があります。</p>		

・職員と組織の能力向上

1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		
1 事業所にとって必要な人材構成にしている		
1. 事業所の人事制度に関する方針（人材像、職員育成・評価の考え方）を明示し、採用している		確認済
2 職員の質の向上に取り組んでいる		
1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している		確認済
2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している		確認済
3. 職員一人ひとりの個人別の育成（研修）計画に基づいて、必要な支援をしている		確認済
2 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		
1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		
1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している		確認済
2. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		確認済
2 職員のやる気向上に取り組んでいる		
1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬（賃金、昇進・昇格、賞賛など）が連動した人材マネジメントを行っている		確認済
2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど）を把握し、改善に取り組んでいる		確認済
【講評】		
有能な人材を確保・育成することに積極的に取り組んでいます		
<p>法人独自の館主任制度を導入し、キャリア形成、役割発揮の機会づくりをしています。次期の館長候補者の育成システムの一環となっています。</p> <p>法人内派遣研修（他館に1週間派遣）制度があります。派遣職員はスキルアップにつながり、またレポートや報告会での発表などでの能力向上にもつながっています。また、館長職においては、人材育成スキルの向上にもつながっています。これにより、法人全体の人材育成機運が高まっています。</p> <p>女性の比率の高い職場のため、ライフステージに合わせた制度を設け、育児経験などが生かされるように配慮しています。また、男性職員を積極的に採用するため、男性職員の仕事の様子をまとめた職場案内資料を作成し、就職希望者に配付しています。</p>		

サービス提供のプロセス

1 サービス情報の提供		
1 利用者や地域住民に対してサービスの情報を提供している		
1. 利用者や地域住民が入手できる媒体で、児童館の情報を提供している		確認済
2. 利用者や地域住民の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		確認済
3. 児童館の情報を、行政や関係機関等に提供している		確認済
4. 児童館の利用促進につながるよう創意ある広報活動が行われている		確認済
5. 放課後児童クラブ利用が困難な場合には、理由を説明したうえで、他の相談先紹介など支援の必要に応じた対応をしている		非該当
<p>【講評】 児童や保護者向けの広報紙は見やすい紙面づくりを心がけています</p> <p>「じどうかんだより」の紙面は2年前から、大きなサイズで両面印刷とイベント情報を利用対象別の構成にするなど、見やすい紙面づくりを心がけています。</p> <p>「じどうかんだより」はホームページで確認できるほか、学校、保健センター、民生委員、西京地区内児童館にも配付され情報提供されています。</p> <p>「じどうかんだより」以外にも、「幼児クラブだより」、「学童クラブだより」など、4種類のサービス情報を毎月利用者や保護者へ発信しています。</p>		
2 サービスの開始・終了時の対応 【放課後児童クラブ併設】		
1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		
1. 放課後児童クラブ利用の開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		確認済
2. 放課後児童クラブの内容について、保護者の同意を得るようにしている		確認済
3. 放課後児童クラブに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		確認済
2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		
1. 放課後児童クラブ利用開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		確認済
2. 放課後児童クラブ利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるよう支援を行っている		確認済
3. 放課後児童クラブ利用の終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		確認済
<p>【講評】 安心して放課後児童クラブの生活が過ごせるよう保護者の理解を得るようにしています</p> <p>新年度保護者説明会では、「学童クラブのしおり」に沿って、福西児童館として大切にしている4つの育成方針を説明し、学童クラブのしおりに沿って基本的な事項を説明しています。</p> <p>個人記録簿を登録児童全員分作成し、気になることや保護者からの情報などを記入し、1週間に1回程度の頻度で必ず職員全員が内容を確認し情報共有するようにしています。</p> <p>放課後児童クラブからの帰宅路は通学路を基本に、集合住宅、戸建て別にそれぞれ個別に作成するなど新入会児童の保護者が安心して通わせることが出来るよう配慮しています。</p>		

3 配慮を要する児童・家庭の個別状況に応じた計画策定・記録

1 定められた手順に従って情報収集、分析および課題設定を行い、子ども・家庭の課題を理解した支援を計画している

1. 配慮を要する子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	確認済
2. 配慮を要する子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	確認済
3. 支援内容は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して計画的に作成されている	確認済
4. 支援の計画は定期的見直しの時期と手順を定めている	確認済
5. 計画を保護者にわかりやすく説明している	確認済
6. 配慮を要する子ども・家庭の支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	確認済

2 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

1. 配慮を要する子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	確認済
2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	確認済

3 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	確認済
2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	確認済

【講評】

個別記録や支援計画を作成して配慮を必要とする子どもの育成支援につなげています

全員の個別記録簿を作成し職員間の情報共有を図り、さらに配慮を必要とする子どもの場合は館独自の支援計画シートを作成して継続的な支援につなげるようにしています。

年2回、介助者のボランティア会議でも情報交換することにより、職員が把握していなかった内容も確認しより正確な記録となるよう心がけています。

放課後児童クラブ児童の場合は、入会が内定した時点で保護者との面談をおこない課題を情報共有して支援計画を作成しています。

4 サービスの実施

1 遊びの環境整備を行っている

1. 遊ぶ際を守るべき事項(きまり)が、利用者に理解できるように決められている	確認済
2. 乳幼児から中高生までの児童すべてが日常的に気軽に利用できる環境がある	確認済
3. 利用者が自発的かつ創造的に活動できるように環境を整備している	確認済
4. 幅広い年齢の児童が交流できる場が日常的に設定されている	確認済
5. 子どもたちの意見を述べる場や意見を生かす事業が提供されている	確認済

【講評】

子どもが主体的に遊び、活動に参加出来るように環境を整えています

「お化けやしき」「児童館まつり」「クリスマス会」等は、子どもの意見を尊重して、子ども実行委員会を組織して企画や準備に関わっています。

児童館を知ってもらうきっかけや放課後児童クラブの児童が地域の子どもと交流することを目的として、館外の公園に出かけ、地域の児童と遊び交流する「エンジョイデー」を年に4～5回実施しています。

子どもが目標を持って遊べる、けん玉やお手玉などの検定や記録に挑戦する取り組みに力を入れています。

2 乳幼児と保護者への対応を行っている

1. 乳幼児と保護者が日常的に利用している	確認済
2. 乳幼児活動が年間通じて実施されており、その内容が参加者のニーズに基づいたものになっている	確認済
3. 保護者同士が交流する機会が設けられており、保護者が企画や運営に参加している	確認済

	<p>【講評】 子育て中の保護者の要望を的確に把握して事業展開に活かしています</p> <p>昨年から始めた0歳児親子の乳児クラブとヘビーマッサージが定着しつつあり、年々乳児親子の利用が増えてきています。 利用者の要望を把握するためのアンケートを実施しており、子どもの発達や保護者のニーズに応じて選択できる多彩なサービスプログラムを用意しています。 保護者が運営に参画する機会として、幼児クラブのプログラムの中で、当番制で保護者による「読み聞かせ」を実施しています。</p>								
3	<p>小学生への対応を行っている</p> <table border="1" data-bbox="209 589 1482 862"> <tr> <td data-bbox="209 589 1318 629">1. 職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助している</td> <td data-bbox="1318 589 1482 629">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 629 1318 703">2. 職員が個別・集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている</td> <td data-bbox="1318 629 1482 703">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 703 1318 779">3. 障害の有無や国籍の違いを超えて、児童と一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われている</td> <td data-bbox="1318 703 1482 779">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 779 1318 862">4. 行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の自主性・主体性を育てることを意識して企画されている</td> <td data-bbox="1318 779 1482 862">確認済</td> </tr> </table> <p>【講評】 日常的に利用しやすい雰囲気作りを心がけ、子どもの主体的な遊びや活動が定着してきています。 小学生への育成支援については、必要に応じて個別記録簿への記録をするとともに職員間での情報共有を心がけています。 自由来館児童に対して日常の遊び他に卓球クラブ、きりえクラブ、各行事の実行委員への参加などを働きかける取り組みが定着しています。 「おたけやしき」等の行事については、子どもたちの意見を取り入れ、子どもが主体的に関われることを大切にしています。 学童クラブを終了した児童の継続的な児童館利用については、スポーツ等の登録制クラブ活動や行事に参加する環境があります。</p>	1. 職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助している	確認済	2. 職員が個別・集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている	確認済	3. 障害の有無や国籍の違いを超えて、児童と一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われている	確認済	4. 行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の自主性・主体性を育てることを意識して企画されている	確認済
1. 職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助している	確認済								
2. 職員が個別・集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている	確認済								
3. 障害の有無や国籍の違いを超えて、児童と一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われている	確認済								
4. 行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の自主性・主体性を育てることを意識して企画されている	確認済								
4	<p>中学生・高校生世代への対応を行っている</p> <table border="1" data-bbox="209 1335 1482 1451"> <tr> <td data-bbox="209 1335 1318 1375">1. 日常的に中学生・高校生世代の利用がある</td> <td data-bbox="1318 1335 1482 1375">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1375 1318 1451">2. 中学生・高校生世代の子どもが主体性や社会性を養えるような活動を継続して実施している</td> <td data-bbox="1318 1375 1482 1451">確認済</td> </tr> </table> <p>【講評】 「中高生と赤ちゃんとの交流事業」は12年間におよぶ実績があります</p> <p>「中高生と赤ちゃんとの交流事業」では、12年間におよぶ私立高校との連携実績があり、事業として定着し、高校生が命の大切さを知る上で成果をあげています。 小学生からの切れ目のない利用を促進し、中学生の利用を定着させていくためにも、ニーズの把握や環境整備を含めて今後の課題となります。</p>	1. 日常的に中学生・高校生世代の利用がある	-	2. 中学生・高校生世代の子どもが主体性や社会性を養えるような活動を継続して実施している	確認済				
1. 日常的に中学生・高校生世代の利用がある	-								
2. 中学生・高校生世代の子どもが主体性や社会性を養えるような活動を継続して実施している	確認済								
5	<p>配慮を要する児童・家庭への相談等を行っている</p> <table border="1" data-bbox="209 1783 1482 1899"> <tr> <td data-bbox="209 1783 1318 1823">1. 子どもからの相談に日常的に対応できる雰囲気がある</td> <td data-bbox="1318 1783 1482 1823">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1823 1318 1863">2. 保護者からの相談に日常的に対応できる雰囲気がある</td> <td data-bbox="1318 1823 1482 1863">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1863 1318 1899">3. 障害のある児童の利用に対する支援策が整っている</td> <td data-bbox="1318 1863 1482 1899">確認済</td> </tr> </table>	1. 子どもからの相談に日常的に対応できる雰囲気がある	確認済	2. 保護者からの相談に日常的に対応できる雰囲気がある	確認済	3. 障害のある児童の利用に対する支援策が整っている	確認済		
1. 子どもからの相談に日常的に対応できる雰囲気がある	確認済								
2. 保護者からの相談に日常的に対応できる雰囲気がある	確認済								
3. 障害のある児童の利用に対する支援策が整っている	確認済								

	<p>【講評】 配慮を必要とする児童や保護者に対して常に意識的な関わりを心がけています</p> <p>子どもたちと一緒に遊んだり話をしたりする中で、意識的に子どもの様子に気を配り変化やシグナルに気づきけるようにし、職員間の情報共有も迅速に行われています。</p> <p>保護者とは、日頃から家庭での子どもの様子や、児童館での子どもの様子などを、気軽に情報交換や相談出来る関係性を築けるように努めています。</p> <p>障害のある児童の保護者とは、入会や利用開始の前に必ず面談を行った上で支援計画シートを作成しています。</p>																								
6	<p>地域の育成環境づくりを行っている</p> <table border="1" data-bbox="209 595 1474 712"> <tr> <td data-bbox="209 595 1318 633">1. 住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進している</td> <td data-bbox="1318 595 1474 633">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 633 1318 672">2. 地域社会で児童が安全に過ごせるような取り組みをしている</td> <td data-bbox="1318 633 1474 672">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 672 1318 712">3. 児童館運営協議会等を設け、地域住民と共に育成環境づくりを検討する機会がある</td> <td data-bbox="1318 672 1474 712">-</td> </tr> </table> <p>【講評】 健全育成事業に理解のある地域のボランティアグループが活躍しています</p> <p>児童館を拠点に長年にわたって健全育成活動を続ける母親クラブとの連携により、絵本作りを中心に子どもや母親向けの事業が充実しています。</p> <p>地域のボランティアグループが、月に3～4回来館して子どもの遊びの中に入って「絵本の読み聞かせ」をしています。</p> <p>幼児クラブを終了した母親による自主サークル立ち上げを支援しました。月に2～3回集まり、児童館の行事にも協力しています。</p>	1. 住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進している	確認済	2. 地域社会で児童が安全に過ごせるような取り組みをしている	確認済	3. 児童館運営協議会等を設け、地域住民と共に育成環境づくりを検討する機会がある	-																		
1. 住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進している	確認済																								
2. 地域社会で児童が安全に過ごせるような取り組みをしている	確認済																								
3. 児童館運営協議会等を設け、地域住民と共に育成環境づくりを検討する機会がある	-																								
5	<p>プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重</p> <table border="1" data-bbox="167 1151 1474 1585"> <tr> <td data-bbox="167 1151 209 1585">1</td> <td data-bbox="209 1151 1318 1189">子どものプライバシー保護を徹底している</td> <td data-bbox="1318 1151 1474 1585"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1189 209 1267"></td> <td data-bbox="209 1189 1318 1267">1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている</td> <td data-bbox="1318 1189 1474 1267">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1267 209 1305"></td> <td data-bbox="209 1267 1318 1305">2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている</td> <td data-bbox="1318 1267 1474 1305">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="167 1305 209 1585">2</td> <td data-bbox="209 1305 1318 1344">サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している</td> <td data-bbox="1318 1305 1474 1585"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1344 209 1382"></td> <td data-bbox="209 1344 1318 1382">1. 日常活動の中で子ども一人ひとりを尊重している</td> <td data-bbox="1318 1344 1474 1382">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1382 209 1420"></td> <td data-bbox="209 1382 1318 1420">2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている</td> <td data-bbox="1318 1382 1474 1420">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1420 209 1500"></td> <td data-bbox="209 1420 1318 1500">3. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している</td> <td data-bbox="1318 1420 1474 1500">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1500 209 1585"></td> <td data-bbox="209 1500 1318 1585">4. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている</td> <td data-bbox="1318 1500 1474 1585">確認済</td> </tr> </table> <p>【講評】 子ども一人ひとりを尊重する考え方は、館の「基本方針」にも明示されています</p> <p>子どもに関する個人情報や外部とやり取りする際には十分に注意するよう心がけ、児童相談所以外からの問い合わせについては必ず保護者の確認を得て対応しています。</p> <p>子どもの画像の印刷物への掲載については、あらかじめ保護者から承諾を得ることを徹底しています。</p> <p>館長が独自の「職員行動指針」を作成し、子どもや利用者の視点に立って適切な支援をしていくことや、コンプライアンスを大切にいく考え方が職員に周知されています。</p>	1	子どものプライバシー保護を徹底している			1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	確認済		2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	確認済	2	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している			1. 日常活動の中で子ども一人ひとりを尊重している	確認済		2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	確認済		3. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	確認済		4. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	確認済
1	子どものプライバシー保護を徹底している																								
	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	確認済																							
	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	確認済																							
2	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している																								
	1. 日常活動の中で子ども一人ひとりを尊重している	確認済																							
	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	確認済																							
	3. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	確認済																							
	4. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	確認済																							

6 事業所業務の標準化

1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	
1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	確認済
2. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	確認済
2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	
1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	確認済
2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	確認済
3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	確認済
3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	
1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	確認済
2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	確認済
3. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	確認済
4. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	確認済

【講評】

「京都市児童館活動指針」を活用しながら業務の標準化とサービスの向上をめざしています

「京都市児童館活動指針」を手引書として活用しているほか、館独自の「基本方針」を作成して、めざす児童館像や、めざす子ども像を明らかにし業務の標準化と業務の向上を図っています。

サービスの向上をめざして、利用者アンケートや各事業のまとめを基に例年2月に総括をおこない、次年度への業務改善につなげています。

サービスの水準を確保するため、研修への参加を促し、事業の企画案の検討や事業終了後の振り返りを丁寧に行いながら、必要に応じて館長からの助言もおこなわれています。

・情報の保護・共有

1 情報の保護・共有に取り組んでいる	
1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	確認済
2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	確認済
2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	
1. 個人情報の保護に関する規定を明示している	確認済
2. 個人情報の保護について職員（実習生やボランティアを含む）が理解し行動できるための取り組みを行っている	確認済
<p>【講評】 ボトムアップでマニュアル策定を行っています</p> <p>プライバシー保護マニュアルの策定にあたっては、児童館勤務経験が長いプロパー職員・館長を中心に案を作り、館長会議で議論して作り上げました。</p> <p>プライバシー保護マニュアルの中には、館での具体的な行動について規定されており、現場に即したものとなっています。</p>	

総評

特に良い点

ポイント1	法人の理念に沿った館独自の経営理念、基本方針、行動指針を作成し子どもの育ちと保護者の子育てを応援しています
内容	「人と人の出会いや、育ち合いを大切にしていきたい」という思いを理念として掲げるにより職員の意識の向上につながり、常に利用者の視点を大切にしたサービスの提供が図られています。 職員の自己評価からも子どもの理解や働きかけに意識の高さが読み取れます。
ポイント2	個人記録簿と支援計画シートを育成支援のために積極的に活用しています
内容	個人記録簿は、週1回全員が目を通して確認することにより館として情報共有を図り、記録の仕方については館長がチェックや指導を行いながら、支援が必要な子どもに対して職員が同じ対応ができるようにしています。 また、配慮を必要とする子どもに対しても支援の経過がわかるよう支援計画シートを作成して継続的な支援が図られています。
ポイント3	館長会議が重要な役割を發揮しています
内容	児童館の状況を共有し、法人の考えを伝達する館長会議が効果的に行われています。市内17施設の児童館を運営する法人として、また館長も多様な経験・経歴を持っているため、情報の質が高いものになっています。そのため、切磋琢磨が生まれ、他館・自館問わず刺激しあっています。議題も現場から提案できる仕組みがあるなど、ボトムアップ型で児童館経営をしていく法人のスタンスが見て取れます。

改善が望まれる点

ポイント1	赤ちゃんとの交流事業の実践を活かして中高生が利用しやすい環境整備が期待されます
内容	小学生高学年から中高生までの切れ目のない利用を実現するためにも、12年間におよぶ高校生と赤ちゃんとの交流事業の実践を活かして、ニーズの把握につとめ中高生が他の事業へも参加・参画しやすい環境の整備をすすめていくことが期待されます。
ポイント2	マニュアルの一元的管理が期待されます
内容	基本的なマニュアルは法人本部として策定したものを提供しています。これに、地域性や設備等の状況に合わせて、各館独自の項目が付加されている部分があります。効果ある取り組みですが、本部に全館のものがフィードバックされていません。共有・分析することにより、基本マニュアルの精度を上げることができると考えられます。